

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 負けたしあいを よんで、帰り道のけんとの気持ちを1つえらびましょう。

サッカーのしあいに負けたけんとは、くやしくて下を向いた。しかし帰り道、コーチの「よくさいごまであきらめなかった」という言葉を思い出し、こぶしをにぎって「次は勝つ」と心に決めた。

- 1 もうサッカーをやめたい気持ち。
- 2 次こそ勝とうという前向きな気持ち。
- 3 だれかのせいにしたい気持ち。
- 4 しあいのことを忘れたい気持ち。

2 ないしょのプレゼントを よんで、ひかりが手紙を引き出しにかくしたのはなぜですか。1つえらびまし

よう。母のたん生日に、ひかりは こっそり 手紙を 書いた。わたす まで だれにも 気づかれないように、引き出しの おくにかくして、当日を 楽しみに 待った。

- 1 手紙が だれかにばれないようにするため。
- 2 手紙をなくしたくなかったから。
- 3 書くのがはずかしかったから。
- 4 先生に見せるため。

3 転校する友だちを よんで、さいごの日のあおいの様子を1つえらびましょう。

なかよしの ゆきが 転校すると 聞いて、あおいは 何も 言えなく なった。さいごの 日、ゆきが「手紙、書くね」とわらって くれたとき、あおいは なみだを こらえて 大きく うなずいた。

- 1 何ともないように わらっていた。
- 2 かなしみをこらえていた。
- 3 おこって にらんでいた。
- 4 ねむそうにしていた。